



学



校



便



り

第13号

since2006

久田学園佐世保女子 高等学校

2007.8.20 (2007年度 第4号)

ボランティア活動 石岳動植物園にて



8月2日(木)、春の歓迎遠足に続き「佐世保市亜熱帯動植物園」を訪れました。今回は、ボランティア活動ということで、園内のお仕事のお手伝いをしました。各クラスに分かれ、作業に取りかかります。

3年1組は、正面玄関入ってすぐの噴水の清掃です。園のボランティア団体「サザンボス」の方々と

一緒に、デッキブラシで丁寧に汚れや藻をこすり落としていきます。大人数のためか、**テキパキ動いたためか**(※おそらく後者だとは思いますが…) あっという間に作業終了。次は事務所2Fに移動して、キャンドルづくりのお手伝いです。このキャンドルは、夏のイベント“夜の動植物園”に使用されるということでした。紙コップに風よけの紙をひたすら巻いていくという単純な作業ですが、逆に長時間行なうには根気と集中力が必要とも言えます。生徒たちは、時々休憩をとりながら、ワイワイ楽しく取り組んでいたようでした。しかもこのクラスだけが**クーラーの効いた室内**での作業。汗だくの他のクラスに恨みを買ってなければ良いのですが……

3年2組は丸太の皮はぎです。この丸太でリス小屋をつくるというお話でした。皮がケバ立っていると、入っているリスはもちろん、見ているお客さんも怪我をする可能性があります。そのため表面を完璧にツルツルにしておかねばなりません。山積みになった重い丸太を下ろし、ヘラのようなものでこすっていきます。が、なかなか一気に取れる訳ではありませんでした。少しずつこする場所をずらしつつ、地面に汗をポタポタ落としながら、コツコツと進めていく地道な作業です。黙々と、まるで**修行僧のように**打ち込む姿が印象的でした。



1年生は板のペンキ塗りです。この板を使って、園内のベンチを組み立てるそうです。真っ白な板が、段々と色を変えていく様子は楽しくもあります。進み具合も一目でわかり、多分この作業が一番、取り組みやすかったのではないかと思います。しかし、人生は楽しいことばかりではありません。ペンキ塗りは早々に終了し、その後は修行僧の仲間入りに……



本来は2日間の予定のボランティア活動でしたが、台風5号接近のため、1日のみの実施となりました。短い期間ではありましたが、華やかな舞台の裏側の地道な活動や、それを支える人々に触れ、夏休み前にいろいろなことを考える良い機会となりました。



密かな楽しみを発見!!!

夏休み目前のある日、校内の一角に突如「**そうめん流し**」コーナーが出現。味もさることながら涼を感じられるスポットとして、密かなブームとなりそうです。

※**すべて3年生の手づくり!**
よく出来ました!!

今年の夏はひとあじ違う！！

～坐禅体験・講話～

1学期終業の7月18日、『生きる希望と勇気と幸せはどこから』と題し、講演会を実施しました。講師は瀬戸越町の西蓮寺住職・茨木兆輝様です。「生まれ変わり」といった仏教的なちょっと固い話から私たちの「日常生活」の話まで、丁寧に話してくださいました。どのお話も具体的でわかりやすく、生徒の心にもスッと入っていったのではないのでしょうか。なかでも“人は勝手に生まれてきたのではなく、お母さんに頼んで、産んでもらった”“クソッたれ”“死ぬ”など汚い言葉を使っていると、そのような〔汚い〕人生を歩んでしまう”という言葉が印象に残りました。愚痴をこぼさず、日頃から何事にも“感謝”の気持ちを持って生活することの大切さ、必要性を強く感じるお話でした。



また、充実した人生を歩むための**おまじない**を、特別に伝授していただきました。これまた特別に、そのおまじないをここにご紹介します。

“ついでるついでる、つきばなし、おかげさま”
この言葉を朝起きて、洗顔後に**3回唱えるだけでOK**です。唱えるだけと聞くと簡単なように感じますが、同じことを毎日毎日繰り返すことは意外と大変なこともかもしれません。“今日ぐらい唱えなくても・・・”
“明日言えばいいや・・・”人間はついつい楽な方を選んでしまいがちです。そのような「怠り心」「サボる心」を抑え、継続したその先には「前向きな心」「感謝の心」「きれいな心」を持った自分ができるようになります。その心は周りにも良い影響を及ぼし、結果、美しく生きることができるといことです。早速実践してみましょ!!

講話をいただいた後は、**お待ちかね(?)の坐禅の時間**です。まず茨木様より説明がありました。
①坐禅の途中、警策(きょうさく)と呼ばれる棒で、肩を叩くということ。
②それは「仏様の愛と励ましと祈り」の意味があるということ。
③叩かれた人は**「アイターッ、このクソ坊主！」**とは思わずに**「ありがとうございます」と感謝の気持ち**を持つこと・・・といった内容です。

いよいよ坐禅スタート! 座布(ざふ)をお尻に敷き、背筋を伸ばし、足を組み、静かに目を閉じます。物音一つしない不思議な空気が講堂を包んでいきます。突然、その静寂を打ち破るかのよう、**パシーッ**と音が響き、その後、生徒・職員一人ひとりに「仏様のありがたい励まし」が授けられました。

坐禅を初めて体験した生徒が大半のようでした。静かに思いを巡らせたり、自分自身を見つめなおしたり、大変良い経験になりました。



西蓮寺といえば佐世保の名所・眼鏡岩



昔、鬼が昼寝をしていて、背伸びをした時に、両足を岩を蹴ってできた穴だという言い伝えがあります。

現在は、静かな信仰の場所であると同時に、公園も整備されています。ちょっとお散歩にいかがでしょうか!?

今年の夏はもうひとあじ違う！！

～進学・就職実践セミナー開催～



夏休みの補講期間中、1・3年生を対象に『進学・就職実践セミナー』を開催しました。1年生には今後の進路決定の参考として、3年生にとっては目前に迫った進路実現のための講座です。

3日間にわたって「ライセンスアカデミー」、「フレッシュワーク」、「麻生塾」の方々に

講師としてお話しいただきました。名称だけではどのような方々か、あまりわからないと思いますので、少しご紹介いたします。「ライセンスアカデミー」とは、進学情報誌の発行や進路ガイダンスなどを行なっている企業です。「フレッシュワーク」は、公共職業安定所内で特に若者の就職支援を目的とした組織になります。また「麻生塾」とは、福岡県内で多種多様な専門学校を運営し、他にも高校生や教師向けのセミナーを行なっている学校法人です。

今回はそれぞれの立場から、“社会人としてのマナーや心構え”“面接などの実践的な就職活動講座”“社会に求められる人材”というテーマでお話とご指導をいただきました。この講座で、改めて社会の厳しさと自分自身の甘さ、また保護者の方をはじめ、いかに

多くの人たちのお世話になっているか実感できたことと思います。特に3年生は、今の時点で、何が足りていて何が足りないのか、何ができて何ができていないのか、冷静に自己を見つめなおし、希望の進路実現へ向けて気持ちを引き締めていきましょう。

また1・3年生は、並行して「話し方講座」「接遇マナー講座」を受講しました。今まで経験したことのない講話や講座が続き、精神的に少し疲れたかもしれません。まだピンとこなかった人もいるかもしれません。しかし、これから進学や就職した際に、必ず「ああ、こういうことだったのか」とわかる時がきます。その時こそが、この講座や研修の本当の意味を理解し、修了することができたと言えるでしょう。

～2年生は就業体験～

7月23日より二週間、2年生はインターンシップを行ないました。ご協力いただいたのは「老人ホームはなの杜」。

掃除、ベッドのシーツ交換、オムツ替え、食事のときのお世話など、様々な仕事を体験させてもらいました。特に、生徒たちはお年寄りの方々の話し相手になったり、一緒に足湯やゲームを楽しんだりすることに充実感や



満足感を得ていたようです。最初の方は、勝手がわからずに戸惑っているようなところも見せていましたが、慣れてくるにつれ、自分で仕事を探して取り組む積極的な姿勢もみられました。参加した生徒全員、異口同音に「良い経験になった、また来たい」との感想を寄せていました。

インターンシップ終了後の日曜日、施設内で夏祭りがあり、生徒もご招待を受けました。すっかり打ち解けた様子で、楽しい時間を過ごせたようです。施設の方から「学校の帰りにでもチョコチョコ寄って下さい」との嬉しい一言もいただきました。

もちろん今回の体験はほんの一部でしかなく、見えないご苦労がたくさんあると思います。しかしながら、生徒一人ひとりが働くということに対し、前向きで積極的な気持ちを持つことができたという点、普段あまり接することの少ないお年寄りの方々と触れ合うことができたという点でも、大変貴重で有意義な体験ではなかったかと思えます。「はなの杜」の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。

入試相談会を実施しています



当校では、今年5月から来年の1月にかけて計・10回、中学生を対象に『入試相談会』を実施しています。従来の学校説明に加え、「フードデザイン」や「装道」、「基礎演習」など本校の特色ある授業の一部を楽しみながら体験してもらっています。現在、第3回まで終了していますが、回を重ねるごとに参加者も

増加し、好評を博しています。

第2回は6月16日(土)に実施。「英語の体験授業」では、普段何気なく使っているカタカナの言葉と英語との関係について学びました。少しは英語を身近に感じてもらえたのではないのでしょうか。

英語の授業に続いて「佐世保バーガーづくり」に挑戦しました。今や全国的なブームとなっているこのハンバーガー。どこのお店にも負けない、あたたかく手づくり感あふれる**美味しい**ハンバーガーが出来上がりました。

第3回は7月7日(土)に行ないました。最初の「国語の体験授業」では、意外と知らない漢字の筆順を、クイズ形式で楽しく学習。結構難問みたいだったようで、全問正解者は引率の先生お一人という結果でした。こちらの先生には**豪華賞品**“ノート1冊”が贈呈されました。

続いて「浴衣の着つけ」を行ないました。ほとんどの中学生が初めての体験だったようで、本校の職員や保護者の方々に手を借りながら、悪戦苦闘の末、無事着つけ完了。この日は“七夕”ということもあり、色とりどりのカラフルな**“織姫”**達の誕生といったところでしょうか。これを活かして今年の夏は「お祭り」や「花火大会」に、浴衣でカッコ良くキメてもらいたいと思います。

最後は「体育の体験授業」です。主にストレッチを行ないました。少し“照れ”があったのか、ちょっと声が小さかったようですが、心地よい汗をかくことができたのではないのでしょうか。

次回は**9月1日(土)**に実施する予定です。また、それに先立ちまして**8月24日(金)**には『オープンキャンパス(食アレンジメントコンテスト)』を開催します。



平和への思いを新たに



8月9日。長崎県民として、決して忘れてはいけない日です。1945(昭和20)年のこの日、11時2分。長崎市に一発の原子爆弾が落とされ、現在までに約14万3千の人々が亡くなり、今も後遺症で苦しんでいる方が大勢いらっしゃいます。『平和』を願わずにはいられません。

本校においても「平和を願う日」として集会を行ないました。犠牲者の方々のご冥福をお祈りし、記録映画の鑑賞、そして校長先生から当時の様子を伺いました。皆さんはどのような感想をもったのでしょうか？



「世界」や「戦争」のことなどについて考えるのも、もちろん大切なことですが、まずは身近なところに視点をあててみてはいかがでしょうか？ 自分自身が“思いやり”“優しさ”“命の大切さ”という心を持って、友達や保護者・先生など周りの人と接しているか振り返ってみてください。本校で日頃より実践していることです。それが『**平和**』への**第一歩**となるのです。



※当初、佐世保も投下目標の候補都市に挙げられていました。歴史に「もし」はありませんが、“もし佐世保に落とされていたら・・・” 生命は何千年にもわたる歴史の偶然と奇跡の積み重ねです。自分の命も、他人の命も、全ての命を粗末にして良いはありません。